

雌阿寒岳

1 概況

火山活動はやや活発な状態が続いています。

地震活動は静穏な状態で経過しました。ポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙活動はやや弱い状態が続いていますが、火口温度は高温の状態が継続していると推定されます。

2 噴煙活動の状況

ポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙の状況に変化はなく、噴煙高度は概ね火口上 100～200m で推移しました。噴煙活動は 2000 年以降やや低下した状態が続いています。

3 地震活動の状況

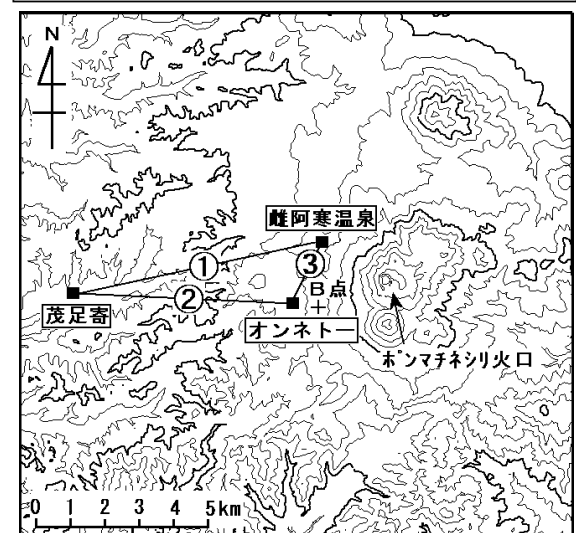
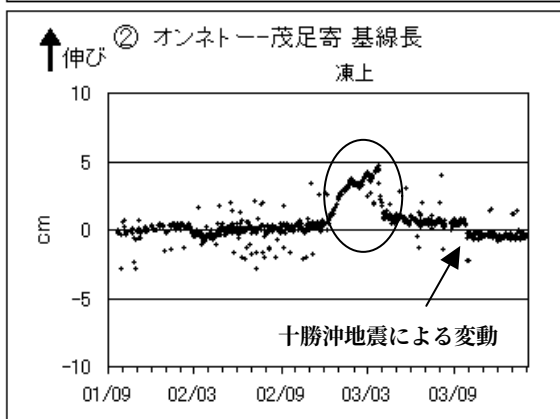
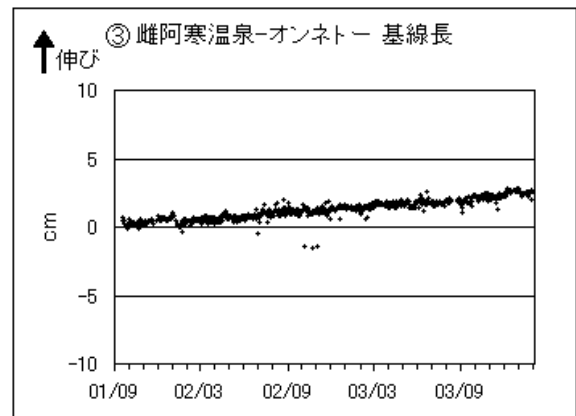
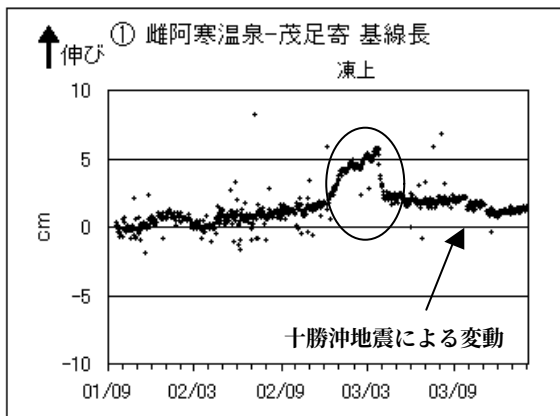
1 月 2 日に北側山麓が震源と推定される地震がややまとまって発生しました。ポンマチネシリ火口浅部が震源と推定される地震は 1 日あたり 0～2 回と少なく、静穏に経過しました。火山性微動は昨年 1 月以降観測されていません。

月別地震・微動回数（B 点）

2003～2004 年	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月
地震回数	83	223	375	163	155	113	195	156	352	19	12	19
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

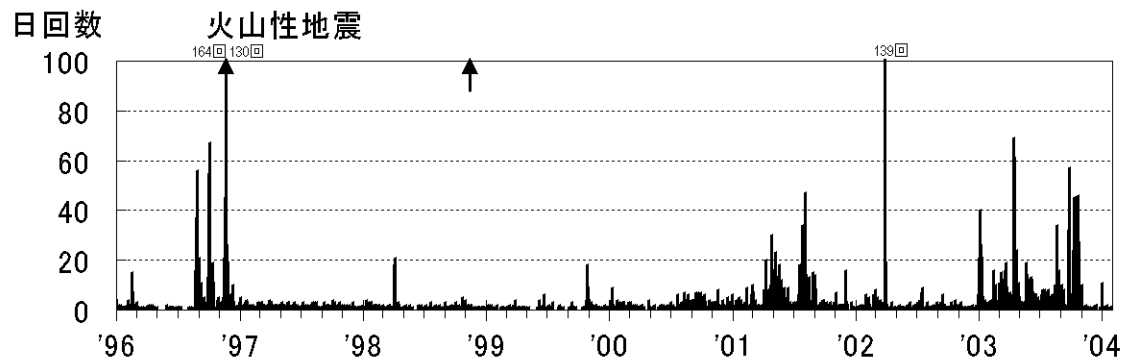
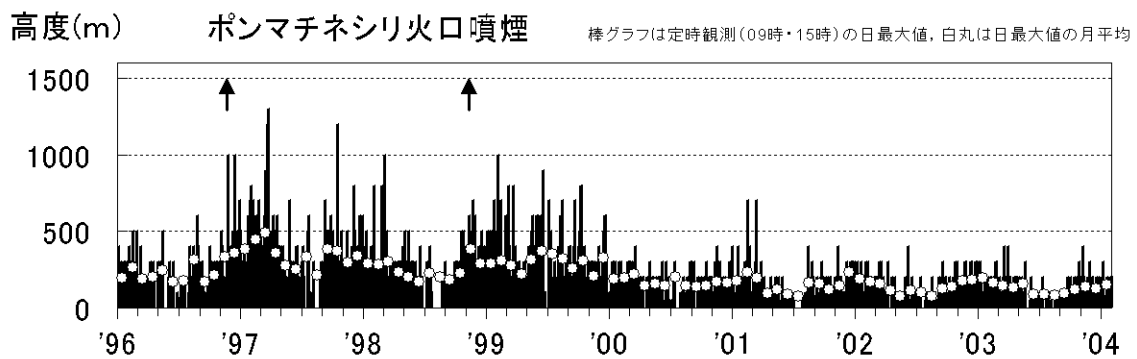
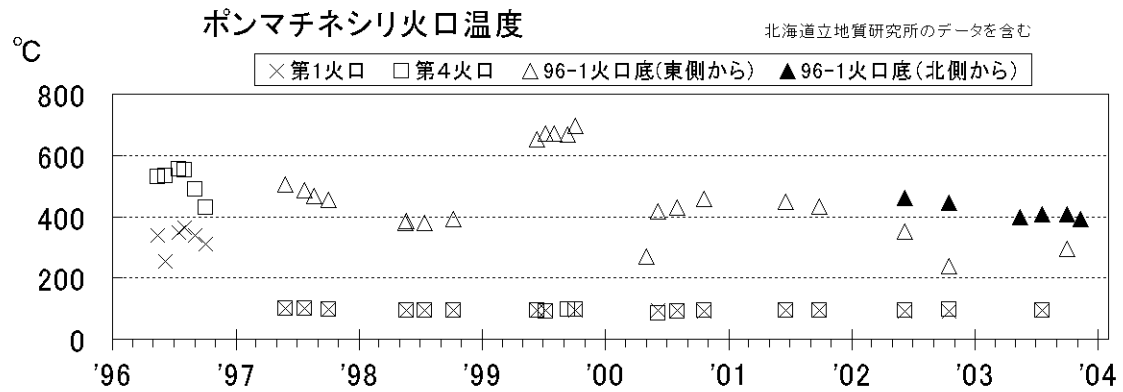
4 地殻変動の状況

地殻変動は長期的に見てやや伸びの傾向が続いていますが、火山活動との関連については今後の推移による判断が必要です。



雌阿寒岳基線長変化

(2001 年 9 月 19 日～2004 年 1 月 31 日)



雌阿寒岳火山活動経過図（日別、1996 年 1 月 1 日～2004 年 1 月 31 日）↑印は噴火